



## 直流電位差法を用いたハンディ型き裂深度計

# 割れ深さが測れるから、 修理計画立案に役立ちます。

### 背景・目的

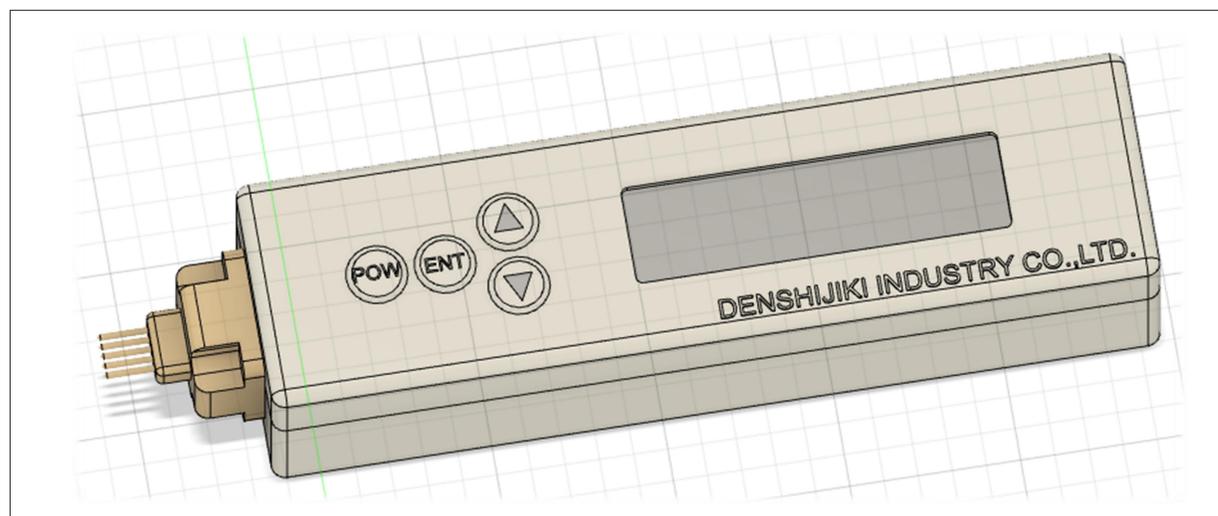
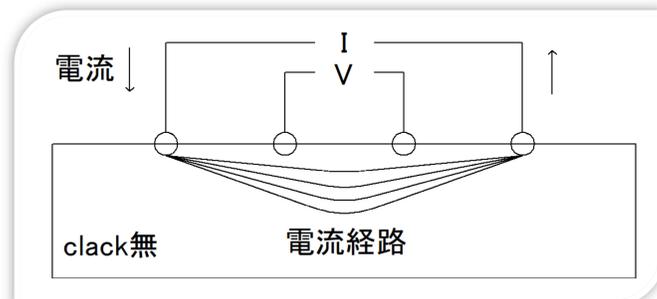
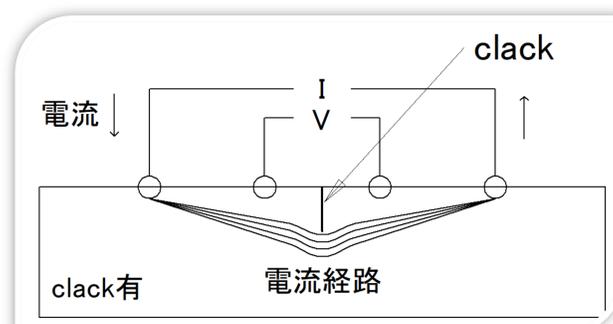
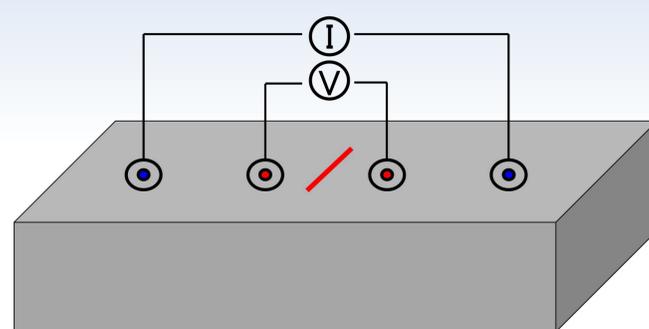
- 火力発電設備などの金属部材は、経年劣化で割れが発生する場合があります。設備保全のためには割れの深さを把握する必要がありますが、狭い場所、角部などに発生した割れは超音波法等がうまく利用できないことがありました。そのため、センサーを割れ部に押し当てるだけで、狭い箇所の微細な割れであってもその深さを測れる装置を開発し、現場での使用を鑑みてハンディ化、ワイアレス化を行いました。

### 特長

- き裂の深さを測定することで、事故を未然に防ぎます。そんな測定をたった1点測定するだけで可能です。
- 接触部の形状に自由度があるため、様々な形状のサンプルに対し有効です。
- 小型・軽量・バッテリー駆動（ニッケル水素充電電池）  
形状：約130×35×40mm(針含まず)

### 用途

- 金属部品の溶接部などに発生した割れ深さを測定
- 金属部品の角部などに発生した割れ深さ測定
- 火力発電設備（ローター、ケーシング等）に発生した割れ深さ測定



### 開発者の ひとこと

現場で使用していただく事を目的に置き、バッテリー駆動、ワイアレス化を組み込みました。今後、センサー部の自由度を高めたモデルを開発していきます。

製造元

**EM/C**® 電子磁気工業株式会社

DENSHIJIKI INDUSTRY CO., LTD.